

標準作型

○印・播種 △印・定植 □印・収穫

作 型	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
夏まき	□						○	○△	△		□	

栽培のポイント

根こぶ病多発圃場では、ダイコンを除くアブラナ科野菜を作付けしないこと。

品 種

ピクセル (サカタ) : 早生。90 日タイプ。品質良。
 スバル (ブロード) : 早生。95 日タイプ。側花蕾発生多。
 緑嶺 (サカタ) : 中早生。べと病に強く、多収。
 エンデバーSP (タキイ) : 晩生。耐寒性に優れ、収穫期は 12~3 月。

畑の準備

苦土石灰 (10kg/a)、堆肥 (100kg/a) を定植の 2 週間前までに施しておく。

育 苗

播種 セルトレイに 2 粒ずつまき、育苗は寒冷紗などで遮光し、ブロックなどで地面から離れたほうがよい。 ※ 播種量の目安 : 5~7ml / a
 発芽した芽が揃ったら混み合っているところを間引き徒長させない。
 移植 本葉 2 枚くらいになった頃に 12 ㎝×12 ㎝の間隔に苗床に移植し、本葉 6~7 枚で定植できる。ポリポット (3 号) での育苗も可能。定植時には苗床に十分かん水し、根を多く付けるようにして苗取りする。

定 植

株間 45 ㎝、うね間 75 ㎝ 定植本数の目安 : 300 本 / a
 水はけが良くなるように株元を少し高くして定植する (深植えは厳禁)。

土寄せ
追 肥

定植 1 ヶ月後に土寄せ、追肥する。

収 穫

頂花蕾が直径 10 ㎝くらいになったら、葉を 3~4 枚位つけて切り取り、収穫したら株元に追肥をしておくと側花蕾の生育が促進される (側花蕾の出る品種と出ない品種があるので注意)。

肥料施用量

(1 a 当たり使用量)

肥 料 名	燐加安 MMB262 号	BM ようりん	NK 化成 2 号	施肥時期
元 肥	10 kg	2.5 kg		定植前
追 肥			4 kg	1 ヶ月後